

スズキ株式会社による次世代環境車社会実験への協力について

1 経緯

スズキ株式会社では、開発を進めているプラグインハイブリッド車について、実際の道路状況の違いにおける影響を調査するための社会実験を実施しております。県内では浜松市で社会実験が開始されており、本市は2番目となります。

本市は、エコアクション21を運用する中で、エコオフィス活動として電気使用量の削減に取り組みCO2削減に力を注いでおります。また今年度中に相良庁舎に太陽光パネルの設置を予定しており、このクリーンエネルギーをEV車のエネルギーに利用したいと考えております。

2 実証試験

(1) 期 間 平成22年11月から1年間

(2) 試験内容

- バッテリーモード時における走行距離の把握
- 電気からガソリンへの切り替わり状況の把握
- 搭乗者の運転方法により与えられる車への影響の確認

(3) 車 両

- 車 種 スイフト レンジ・エクステンダー
- 形 式 プラグインハイブリッド(バッテリー電力で15km走行)
- 充 電 約90分/100V、約60分/200V

3 使用方法

本市には、スズキ株式会社の相良工場が立地していることから、将来を担う地域の子供たちへの環境教育や地域貢献の意向もあるため、以下の取り組みを行う予定です。

- 地域や学校、幼稚園・保育園など、各種イベント時における展示・走行
- エコドライブ講習などの環境教室の実施
- 青色パトロールにおける利用 など

4 貸与式典について(予定)

(1) 日 時 平成22年11月4日(木) 午後6時

(2) 会 場 榛原庁舎南側駐車場

式典に先立ち、午後4時から放課後児童クラブの児童を対象に、簡単な環境教室を実施する予定です。

5 その他

本市は平成19年7月27日に、自治体では東海4県で初のエコアクション21の認証を登録しております。